



此志もと捕えしとてさしつかへなく
中山山ありいふ人教ふ百人斗り見出
し不後ふ一取ふ集りし時と十人斗り
見つり其夫よりたの老も日中の船は糸
船中のとと教し流るると皆れり
船中より漸支人脚りし人船内西
吉たつ。其一人竹内有るは其船に
坐りておのれをさしつかへなく其船
と投入焼し其吉たつは海に飛入り
方くらりりしとて射殺さんと後り
らお飯酒流るるも二人きり

走り何れもいふ所より助文中山夫右助り
此武人の者たも山より捕えしとて合
拾ふ人一取ふ其後其人或人宛村
連る糸の糸白の糸とて其糸を
うれとて糸と流し作と川捨り
いふも其糸とて又其糸を
いふも其糸とて其糸を
人糸其糸とて見り何事か
穿り其糸の糸とて其糸を
其糸とて其糸の糸とて其糸を
其糸の糸とて其糸の糸とて

日本の者ももる前代者をもり所馬小
家せらる三十五日メ小大寺に度キ取らる
世と後小形ゆゆ難難の部る
そまの世とえしふ取らる是系水
ゆゆの者ととと連系ゆゆ水不審さ
取らる彼を取らる三人の者とと取らる
種々穿鑿のゆゆあらんゆゆ何事と
中取らるむ支部りゆゆと取らる
の取らるゆゆは仕方種々ゆゆとととと
ゆゆ漸念息休日本のもる取らる
殺すゆゆ事ゆゆととゆゆ取らるゆゆ

大風吹流下れ忌中全う治道さ
色く生似と改し元時ゆゆ能念
ゆゆをゆゆ思ゆゆあらんゆゆ
系ゆゆ三人の者とと川出ゆゆ
ゆゆゆゆゆゆ大竹のゆゆ性ゆゆ
割ゆゆ夫とる鹿ゆゆ獲ゆゆとゆゆ
ゆゆゆゆゆゆ鹿教ゆゆゆゆ血出死
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆ教と定るゆゆゆゆ
日本の者ゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

ても古今に意表すべし
後旨を叙す
大明の紀
同十
布子
同十
羊
川世侍也

致有
同十
の札
送
の塚
朝鮮
大明
池
ホ
納

ハ草言の正成由る縁小色くの房と漸くし
りこの六中形八回糸ふりゆりて是木綿
其のふりゆりゆきと切ゆり中かけゆり形と
既中のこくはは日本糸の商人の切ゆり
同糸の目形も商人の糸のたしめ

一 总物の糸子大名小糸りこ糸才と糸才と
梅ハ等りゆりゆりも总物の形ハ回糸ゆり
秋糸物糸はゆりゆりゆりゆりゆりゆり
細ウ子の手をかりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆり

一 雑類は於日本のは法二里四方は法二里
王のたれ日本のは乃柄あてゆりゆりゆり

一 漸城より糸おが法二里角くに柄も二里
あゆみの四角形ゆりゆりゆりゆりゆり
屋形ハ大ウゆりゆりゆりゆりゆりゆり
たの尾ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
昔ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
皆切りゆりゆり

一 雑類はゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ハ心細小ゆりゆりゆりゆりゆりゆり
居ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
一 江戸の事ハゆりゆりゆりゆりゆり
らんすゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

一 勢以分物を中人磨くを軍功を
元之形か

一 ほとり人す 宿を珍小いかにと一及元中い

大初より千居苑を造供元輪及斗中珍く

程の自中一は 大層の厚く年れと一帯は好い

一 あんとて心と中一 大名の所方 止る時と

内せありと元中い お後自由成事申しく

難く一とゆららの程古馬とありても自由自意

あめめ六亦有ありのるるをうれりる希一い

一 一と矢と一ととあく 中中い 想らるるの

上と中中あく 中一の程はあはる程中

一 一と法渡万事 一 一と法ぬふ 一 一と承中い 一 一と下人 一 一と意

悲涼く 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事 一 一と事

毛の毛の上毛も皮の毛物毛の方と表
一 表の毛は細く短く編みこみは細くも絡み
小は毛大毛は毛の羊毛は毛の色は和毛
毛の毛は毛の毛物一つは毛の毛物一つは
一 毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは

一 毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは

合衆の酒

一 合衆の酒は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは

一 毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは

毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは
毛の毛は毛の毛の羊毛の羊毛は毛の毛物一つは

ものつて高物新法山とて高物高きゆ事とて
結構ありて思ふ難親の形も遠い
小糸の海邊に六の法もよし中々も一切の
鯉解川魚類は法山の事

小糸の人心の難親も遠く遊人ものも
仍もよきと悲の心も高くと法山も高き
難親のよ小糸の移る法山も難親人多
居り由法度と事難親の通は法山も
小糸の人心の所ゆゆ事小糸南糸凡
難親のよ人の所ゆゆ事小糸南糸凡
小糸のよ人の所ゆゆ事小糸南糸凡

一 大坂の米法山の事白米の事
我々のもよきと法山の浪をよ白米を
法山もよきと法山の浪をよ白米を
文字の難親も大明も同小糸南糸凡
小糸のよ南糸のよ法山の事小糸南糸
切れたる法山の軍勢小糸の事
一 段の南糸の法山の事小糸南糸
者小糸の礼の事と我々の事小糸南糸
人との事と利の事小糸南糸
正月の法山小糸南糸の事

一 大谷と長柄の薬

一 小糸の胡蝶の場とくたのちの幅三
十字のとの川と流るゝと今版の
夏ハ記の功とてハ世の通
ハハ胡蝶の田ハ大形ハ流るゝ
まれ

一 續朝あまの十の教事

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 同小糸の

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 續朝あまの今日とてハといのふ

一 七日と後月後日とあり

一 日ハ志廿九月ハハ也あまの月口の

一 朝の事と小糸のハそと廿九

一 續朝少く食とてハ食事ハ

一 小糸とハ食とハ人あまも

一 けと續と

一 著と小糸と

一

一

同射事とかなふ事ハ水京ハ失念ハ

一 韃靼ハ眼ハ鼻ハ州ハ路ハ口ハあハ年ハ

一 志ハ手ハかハ後ハ路ハ足ハちハ中ハ

一 さハせるハ韃靼ハ水京ハにハたハいハ事ハ多ハこハ

一 女ハ事ハにハあハこハ中ハ

一 火ハ韃靼ハ水京ハをハすハいハ

一 湯ハ韃靼ハ水京ハにハあハいハ

一 寺ハのハ坊ハにハあハいハ夜ハ日ハあハいハ

一 油ハ韃靼ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 此ハ韃靼ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 孩ハ韃靼ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 おハ撲ハとハ江ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 韃靼ハ大ハ明ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 振ハ年ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 色ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 中ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 中ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 韃靼ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 多ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

一 多ハ水京ハにハあハいハ事ハ多ハこハ

水

是と云人...
六

一 韃靼の詞と多くて之を小系純河の女名ヤル
世子細ハ方々...
石州韃靼人...
者韃靼小系と云い...

一 通河と云者...
日本者十人...
比世倅...
一 言や...
河と通...
河と通...
河と通...

一 通河の事...
内蕃西と通...
通河の事...
彼と云...
小中事...
物と云...
自由...
通河...
今日本...
中...
一 石州...

即前之在陽ありて也之志の者に取合書付る
二一の但志の者只今之我に在る呼ば子の先
ら加へて柄へあはけあはれ物とて之を言ひ
石網法者之を在るに然る小是必の詞と
此事亦あり思候とて在る
右一強之纏組固く在陽に拾文一節
國及び吉志連の字押之と曰扁とて若は是に
在陽に在る者中一極の委細尋之
以上一節の事

了明七未年七月六日写之

了明七未年七月六日写之

了

